



3月是新大学生や新社会人、また転職などで一人暮らしを始める方が多い時期です。初めての一人暮らしでは、若者がこれまでに経験したことのない様々な契約を自分自身ですることになり、中には複雑な契約や高額な契約もあります。

そこで、新生活のスタートでつまづかないよう、初めての一人暮らしで気を付けてほしい消費者トラブルを紹介します。

【初めての一人暮らしで気を付けてほしい5大消費者トラブル】

①退去時の原状回復などの「住宅賃貸借トラブル」

【契約時】 契約書類の記載内容や賃貸住宅の現状をよく確認しましょう。

【入居中】 入居中にトラブルが起きたら、すぐに貸主側に相談しましょう。

【退去時】 清算内容をよく確認し、納得できない点は貸主側に説明を求めましょう。

②引越しや不要品回収などの「引越し関連トラブル」

◇引越しサービスの契約時は約款をよく確認し、価格とサービス内容も十分に検討しましょう。

◇引越し完了後は、すぐに荷物の状態を確認しましょう。

◇不要品の処分は、お住いの市区町村が提供する窓口に余裕をもって依頼し、お住いの市区町村が案内するルールで処分しましょう。

③新生活を狙った「訪問販売トラブル」

◇その場ですぐに契約せず、不安や不審な点があれば家族や身近な人に相談をしましょう。

◇不要な契約である場合は、はっきりと断りましょう。

◇訪問販売で契約した場合は、クーリング・オフができる場合があります。

④新生活でも気を付けたい「もうけ話トラブル」

◇うまい話に飛びつかないようにしましょう。

◇知り合った相手から「簡単に稼げる」などと勧誘されても、うのみにせず疑いましょう。

◇借金をしてまで投資や副業等のために、お金を支払うことはやめましょう。

⑤スマホやネット回線などの「通信契約トラブル」

◇料金プランやサービス内容を書面でもしっかり確認し、説明を受けましょう。

◇転居時にネット回線契約を変更する際にも、契約条件などをよく確認しましょう。



よく読んで
内容を確認
しましょう！



失業保険の給付金等が増やせるという 申請サポートに注意！

- ◆失業保険の申請サポート契約をしたが、事業者が言っていたような給付金がもらえなかったので、サポート費用を払いたくない。
- ◆失業保険の申請支援をうたう事業者と契約した後、解約を申し出たら高額な違約金を請求された。
- ◆失業保険のサポートをうたう事業者と契約したが、うつ病と診断されるマニュアルが送られてきた。詐欺にならないか不安。

以上のようなトラブルが発生しています。

雇用保険法に基づく失業等給付は、仕事を失った人が、生活を維持しながら再就職を目指すための公的支援制度です。ハローワークで申請を行い、条件を満たせば受給することができます。給付額や給付期間は、退職理由や勤務年数などにより異なります。

失業保険は、あくまでも行政機関による審査で決定されるものであり、給付が保証されているわけではありません。過度に期待を持たせるような広告には気を付けましょう。

◆相談員からのアドバイス◆

- ◇契約前に、サービス内容が支払う金額に見合っているか、解約条件はどうなっているかなど、慎重に確認することが大切です。
- ◇給付を増やすために、事実ではない内容で申請すると不正受給となり、申請者本人が責任を問われることになります。事業者から事実ではない内容で申請を勧められても、絶対に応じないようにしましょう。
- ◇事業者との契約に関して不安に思ったことや、トラブルが生じた場合は、すぐに消費生活センター等に相談しましょう。



消費者ホットライン 局番なしの い や や

☎ 188

最寄りの消費生活センターにつながります。

…専門の相談員と一緒に解決の方法を考えます…

那須烏山市消費生活センター ☎0287-83-1014

受付時間: 9:00~12:00/13:00~16:30 (土日祝日・年末年始を除く)

那須烏山市役所烏山庁舎(1階)商工観光課内